



さまざまな職業の方を招いて お話を伺う「専門家に聞く」開催



講師の話を熱心に聞く生徒たち

11月30日(金)、1年生の総合学習行事である「専門家に聞く」が行われました。昨今は「キャリア教育」の観点から、生徒に職業意識を持たせて学習意欲を高めるため、卒業生や社会で活躍している方を学校に招くことが多くなっています。本校では現行のカリキュラムになって5回目と、早くから取り組んでいます。生徒たちの評判もよく、司会から講師の紹介まで生徒が行っています。この行事を心待ちにしている生徒も多いようです。

例年、20〜30人のさまざまな職業の方を招き、生徒は希望する職業の講師4人を選んで、20分ずつ計2時間のお話を伺います。今年は編集者、消費生活アドバイザー、弁護士、歯科医師、保育士、銀行員、社会保険労務士、グラフィックデザイナーなど多彩な職業の方々が講師として参加。毎年講師の方々にも好評で、遠くから喜んで駆けつけてくれる卒業生もいます。



心理学専攻の 大学院生、西村さんが 日本学術振興会の 特別研究員に初採択



コミュニケーション科学研究科心理学専攻博士後期課程2年生の西村律子さんが今年4月から2年間、日本学術振興会の特別研究員として採用されることになりました。この制度は優れた若手研究

員が研究に専念できるように助成金が支給されるものですが、審査が厳しく、愛知淑徳大学の院生では初の採択という快挙です。

応募したテーマは「半球間相互作用と選択的注意の関連」。右脳と左脳の情報処理に関する「半球間相互作用」と「選択的注意」は従来、多くの研究がされてきましたが、二つ

を関連させた研究は独創的で、高い評価を得たようです。「認知神経心理学の研究が進んでいるのは欧米で、これまで海外で開催される国際心理学会や国際神経心理学会などへは自費で行っていました。助成金で行けるようになるのが嬉しいですね。本場で発表するのは勇気が要りますが、どんどん挑戦したいと思っています」

指導教員の吉崎一人教授からは、責任ある研究員に選ばれたので、今まで以上に頑張れと励まされたとのこと。「地道に業績を上げていけば認めてもらえるという自信になりました。後輩にもそう伝えたいですね」

オマーンから 国家評議会議員らが来学



CCCを見学。
右がモナ・マンゼリ議員

昨年12月5日、モナ・マンゼリ・オマーン国家評議会議員とアル・アラウィー在日オマーン大使館代理大使が、日本政府の「21世紀パートナーシップ促進招聘計画」の一環で来学されました。

モナ・マンゼリ議員は現在、情報教育担当兼教育大臣顧問をされ、教育問題、女性問題、福祉問題に高い関心を持ち、女性ボランティア協会会長など障害者福祉分野でボランティア活動を推進されています。今回はボランティア活動、障害者福祉、教育交流について教職員や学生と懇談することを目的に訪問されました。

島田修三副学長と文化創造学部の榎田勝利学部長の案内でCCCを見学された後、7人の学生とボランティア活動や国際体験について率直な意見交換が行われ、両国の文化理解の絶好の機会となりました。



学生との意見交換を終えて



川澄未来子先生が 学会優秀発表賞を受賞



文化創造学部の川澄未来子准教授は、日本感性工学会06年度大会で発表した研究「自動車フロントマスクにおける表情と年齢印象の評価研究——似顔絵線画を使った分析——」

が高く評価され、昨年8月に優秀発表賞を受賞されました。この研究は、人の顔の印象を表現する時に用いられる「表情」や「年齢印象」を、車のフロントマスクデザインの評価に応用した点がユニークで、発表では具体的な実験方法と結果について論じられました。年代、性別、国籍、生活様式などに応じてユーザーのイメージ構造がどのように異なるのか、把握し比較していくの役割がそうです。

先生の受賞をお喜びすると共に、今後のますますのご活躍をお祈りします。



学科・専攻
相談コーナー



中央棟大アリーナでの説明会

中高キャンパスの案内



第3回 オープンキャンパスに 1000人超の来場者

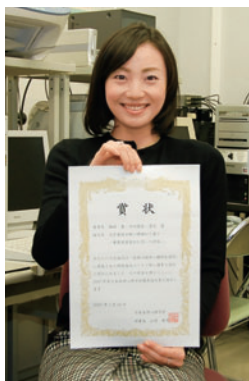
10月27日(土)、第3回オープンキャンパスを開催しました。愛知淑徳大学を希望する受験生を対象に、本学をより理解してもらうために年3回開催しています。今回は長久手キャンパスと星が丘キャンパスへ合わせて1033人の来場者がありました(保護者数は含めず)。



キャンパスツアー

当日はあいにくの雨模様でしたが、東海4県はもちろん、北は新潟から南は沖縄まで、全国から来場いただきました。また高校1、2年生や保護者の方の姿も多く見受けられ、本学への関心の高さが伺えました。

梅林さんが 日本生理心理学会の 優秀論文賞を受賞



コミュニケーション研究科 心理学専攻の梅林さんが、「生理心理学と精神生理学」2006年12月号に掲載された「文字属性分類の課題切り替え―事象関連電位を用いた研究」で2007年度日本生理心理学会優秀論文賞を受賞しました。

この賞は同誌に発表された中から優秀な論文に対し、年に1人授与されるもので、昨年7月、札幌医科大学で開催された第25回日本生理心理学会大会で表彰されました。梅林さんは2年前に心理学専攻博士後期課程を修了後、沖田庸嵩教授の指導のもと研究を続けてきました。今回は沖田先生、清水道先生との共同研究となります。

毎年12月最初の土曜日に行っている中学校入試説明会。今年度も12月1日(土)に実施しました。年々参加者が多くなり会場に入りきれないこともあったため、今年度は会場を記念会堂から中央棟大アリーナに変更して開催。当日は朝



中学入試説明会に 1700人以上が参加

早くから多くの受験生や父母がためかけ、開会前には用意した座席では足りなくなり追加の椅子を運び入れました。学校長あいさつのおと、学校生活紹介DVD「夢にむかって」を上映。続いて副校長より、20年度の入試出願についての説明と19年度入試問題の解説を行いました。2月の入試を控えて、真剣な眼差しで聞き入る参加者が多く見られました。

11月10日(土)、高等学校入試説明会が記念会堂で行われ、400人が参加しました。高校の入試は21年度よりなくなるため、今年が最後の説明会となります。例年に比べて親子、父母のみの参加が多く見られました。



最後の 高校入試説明会 開催



記念会堂での説明会



行列ができた入試相談

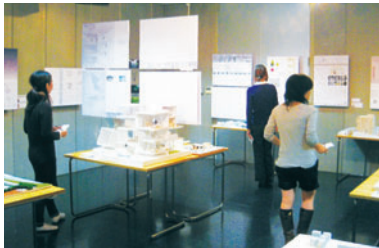
の入試についての説明があり、参加者は熱心にメモを取っていました。その後、学園生活を紹介します。吹奏楽部の演奏に続いて、公立中学校出身の在校生と卒業生によるスピーチがありました。生徒たちは、高校にはクラブ、学習、

行事に生き生きと取り組める環境があることや、学園祭、同級生らとの交流、学習、教師についてなど、心を込めて話してくれました。

長久手キャンパス8号棟5階の
プレゼンテーションルーム



都市環境デザインコースの 学生主催で 「第1回 芽が展」開催



昨年11月3〜9日、現代社
会学部都市環境デザインコー
スと大学院の在学生の企画
による「第1回 芽が展」が
開催されました。

この企画は同コース4年生
4人と大学院生2人のプロジェ
クトチームが、在学生だけで
なく院生、卒業生にも作品の
出展を呼びかけたもので、日
頃の勉強や研究の成果を模型
写真、映像などバラエティ豊
かな43作品が展示されました。

建築系の学部を設置する
他大学11校へも案内ポスター
を送り、学内外から多数の入
場者がありました。会場では
来場者から熱心な質問を受
ける出展者もあり、今後の活
動の大きな励みになったよう
です。

現在、プロジェクトメンバー
は報告書の作成に取り組み
とともに、来年度以降の継続
的な開催を目指して後輩への
引き継ぎ作業を行っています。

メディアプロデュースコースの 大西ゼミ生が タイのビデオフェスティバルで受賞



現代社会学部メディアプロ
デュースコースの大西誠教授の

ゼミ生は、数年来、タイで研
修を実施しています。

昨年8月29日、バンコクで
開催されたタイ科学技術省
主催の環境科学に関するビ
デオフェスティバルに、3年生
のゼミ生が制作した映像作
品で参加。ゼミ生は、9月の
研修旅行中、タイの学生グル
ープの映像作品を見るなど、交
流を深めました。

また、タイ科学技術省のパ
ト・ヤムカテ次官代理よりフ
ェスティバル努力賞のプラーク（賞
板）を授与され、「来年もバン
コクに来てフェスティバルに参
加してほしい」という温かい
言葉をいただきました。



現代社会学部・ 大学院現代社会研究科の学生 相次ぐ活躍

ドコモ東海協力のコンテストで メディアプロデュースコースの 5人が入賞

向野忠政	澤木慎吾
西坂幸祐	
新城桃子	小寺裕美

入賞者の作品



昨年5月から募集していた
（株）NTTドコモ東海協力の
「次世代クリエイター」のケ
ータイMOVIEコンテスト「N
EXT GENERATION」
に、現代社会学部メディアプ

ロデュースコースの学生5人が
入賞しました。

このコンテストは、東海地方
で映像制作を学ぶ大学、専門
学校を対象に、Vライブオー
プンタイプサービスを活用し
た映像配信方法を学習し、ス
キル習得の一助となることを
目的としたものです。

創造力にあふれたバラエティ
豊かな受賞作品は、携帯電話
のテレビ電話機能を利用して
映像を配信するVライブサー
ビスで8月に配信されました。
受賞者は以下の通りです。

実写部門
部門賞 3年 向野忠政さん
入賞 4年 新城桃子さん
4年 澤木慎吾さん
アニメーション部門
入賞 4年 西坂幸祐さん
4年 小寺裕美さん

メディアプロデュースコース 西坂幸祐さんが チバテレビ賞を受賞



昨年9月に開催された「第
3回アジア海洋映画祭」に
幕張して、現代社会学部メ
ディアプロデュースコース4年の西
坂幸祐さんの作品「オボエテ
マスク」が入賞しました。

アマチュアによる海に関わ
る短編ビデオのコンペティショ
ンで、全国から応募された作
品の中から最終入賞作品10
本に選ばれるとともに、合わ
せて「チバテレビ賞」も受賞し、
作品は会場で上映されました。

西坂さんは、本学のソシオ
メディアセンターのチューデ
ントアシスタントを務めてお
り、「これまでも数々のユニ
クな作品の制作発表を行って
きました。現在は大学生活の
集大成である卒業制作に全
力投球中で、今後ますます
の活躍が期待されます。